



やすらぎ

医療法人社団 芙蓉会
ふよう病院
千葉芙蓉病院
きやらの樹ケアセンター

芙蓉会社内報
令和7年12月号

芙蓉会

理事長挨拶 医療法人社団 芙蓉会 理事長 四ヶ所 大

今年を振り返ると、米の価格高騰に、クマ被害の深刻化。大阪万博の開催中は、予想以上に賑わったのが印象的でした。スポーツでは、長嶋茂雄・読売巨人軍終身名誉監督の訃報に落胆しましたが、メジャーリーグ・ドジャースの大谷選手の活躍には毎回驚かされました。11月のワールドシリーズにおける山本選手の熱投は、恐らく何年も語り継がれる事になるでしょう。

今年の後半、外部の方々とお会いする度に聞こえてきたのが、物価高騰の話題でした。当法人においても、病院・介護施設の修繕等を模索しておりましたが、事実上のお手上げ状態。2021年に東京で開催された、夏季オリンピック後に建築費等のコストも下がると見込んでおりましたが、全くの見当はずれでした。コロナ禍以降、補助金申請も増加されておりましたが、現在、約6割の病院が赤字経営との報道もあります。政権の枠組みも変わり、期待している部分も多く、来年予定されている診療報酬改定では2014年度以来のプラス改定になる可能性が高いと聞き安堵しておりますが、内閣及び社会保障審議会の方向性を、今後予定されている審議会においても継続する事を切望しております。

さて、法人内部では3月に電子カルテを正式稼働。その後、紆余曲折あったものの順調に稼



働しております。また個々のレベルアップを見据え、各種研修会を10月から開始。階層別に合わせた内容を重視し、最初の回は業務改善を中心としたカリキュラムとしました。

業務改善をスタートするにあたり、実現可能性が高いものから始めるのがベターですが、理解して身につけているケースもあれば、理解はできるが実行できないケースもあります。研修会で挨拶する時のキーワードが正にこれ、「この場だけで理解して帰るのではなく、現場での職務に活かしていただきたい」。3月まで続く長い研修予定を組んでおりますが、法人及び個人が抱える課題を一つひとつクリアしていきたいと思っております。

「老人は国の宝」

医療法人社団 芙蓉会 (事業所一覧)



- ・ふよう病院
- ・ふよう病院介護医療院
- ・芙蓉ミオ・ファミリア町田
- ・千葉芙蓉病院
- ・グループホームあおぞら
- ・デイサービスふれあいルーム

2025 年 11 月「業務改善研修」

発行者：(株) インソース 藤内講師

内 容：10 月に管理職を中心に行った業務改善研修と同じ内容で一般職員を対象に実施。現場の職員と気持ちを共有できる看護師で管理職経験のある講師をお招きしました。上司任せではなく、業務改善に主体的に取り組む姿勢をはぐくみ、問題点の発見、改善策の提案、是正ができる事を目標とした内容にしています。業務改善の実現により時間を生み出し、ご利用者のためにその時間を使うことで、職員の「やりがい」や「達成感」、ご利用者の「満足度」に

つなげていきたいと期待しています。



2025 年 11 月院内研修「感染②『口腔ケアと感染予防』」

発行者：感染部会

内 容：今回の研修では、まず医師から感染性呼吸器疾患である誤嚥性肺炎について説明を受け、日頃の口腔ケアの充実が口腔内で増殖する細菌の抑制が誤嚥性肺炎を防ぐことにつながることを意識づけした。

また今後のより良い口腔ケアについて、グループ毎に日頃の口腔ケアで困っていることや実践していることを話し合う時間を設けた。



2025 年 11 月法定遵守・医療倫理（患者の権利）研修 「ご利用者の権利とコンプライアンスについて」

発行者：研修委員会

内 容：今回の研修では、法令遵守（コンプライアンス）と、ご利用者の権利に関する理解を深めることを目的に、医療保険上と介護保険上で異なるご利用者の権利の解釈や、普段の業務

の中でも必要と思われる法令基礎について解説しました。また、なぜその介護計画が必要か、計画に沿ったサービス提供とはどういうものか、記録はなぜ必要なのか等についても触れました。

2025 年 12 月「生産性向上：ドミノを使用したチームワーク研修」

発行者：(株) インソース 本間講師

内 容：12 月にドミノを使用したチームワーク研修を行いました。法人で働く外国人の方達向けの研修グループでは、日本で結婚して永住権を取得している方、特定技能制度でフィリピンまたはインドネシアから来日されている方を対象とし、日本語を使ったコミュニケーションとチームワークの向上、指示伝達を受けたときに対応力、さらに指示伝達を行う側の意図を学んでいただきました。

どう伝えれば理解してもらえるか、どう補えば課題をクリアできるのか、効率的な指示伝達や、伝わらない時の対応方法、相互扶助などを、

ドミノを通して体感できたかと思います。母国語も職場も異なる職員たちが、それらを感じさせないチームワークを発揮されたことに、驚きと感動を覚える良い研修となりました。



クリスマス会を開催

12月21日、ふよう病院・ふよう病院介護医療院入院中の患者様向けにクリスマス会を開催しました。

普段は、機能訓練で利用するリハビリ室も、飾りつけをしてすっかりクリスマス一色。流れる曲は、患者様も職員も一緒に歌えるクリスマス定番曲。

ゲームは、ペットボトルにサンタ、トナカイの絵を貼りボーリング倒した本数だけ、患者様がツリーに飾りつけ。スタッフと歌う患者様やペットボトルが思ったより倒れなかった時の悔しい表情、また、面会時間と重なり家族と過ごされ喜ばれる姿など、楽しい時間を過ごしました。



リハビリテーション開始

令和7年12月より、千葉芙蓉病院では脳血管疾患リハビリテーションⅢの算定を開始し、患者様のリハビリを強化しました。

院長より

「拘縮による骨折ゼロ」「リハビリによる活動により少しでも食事を摂取できるように」との考えのもと、職員が丁寧に対応しております。リハビリを行うことでより良い療養生活を過ごしていただけるように取り組んでまいります。

